



仁和小学校 学校教育目標 ゆめに向かって 自ら学び 自ら考え たくましく 共に生きる 仁和の子

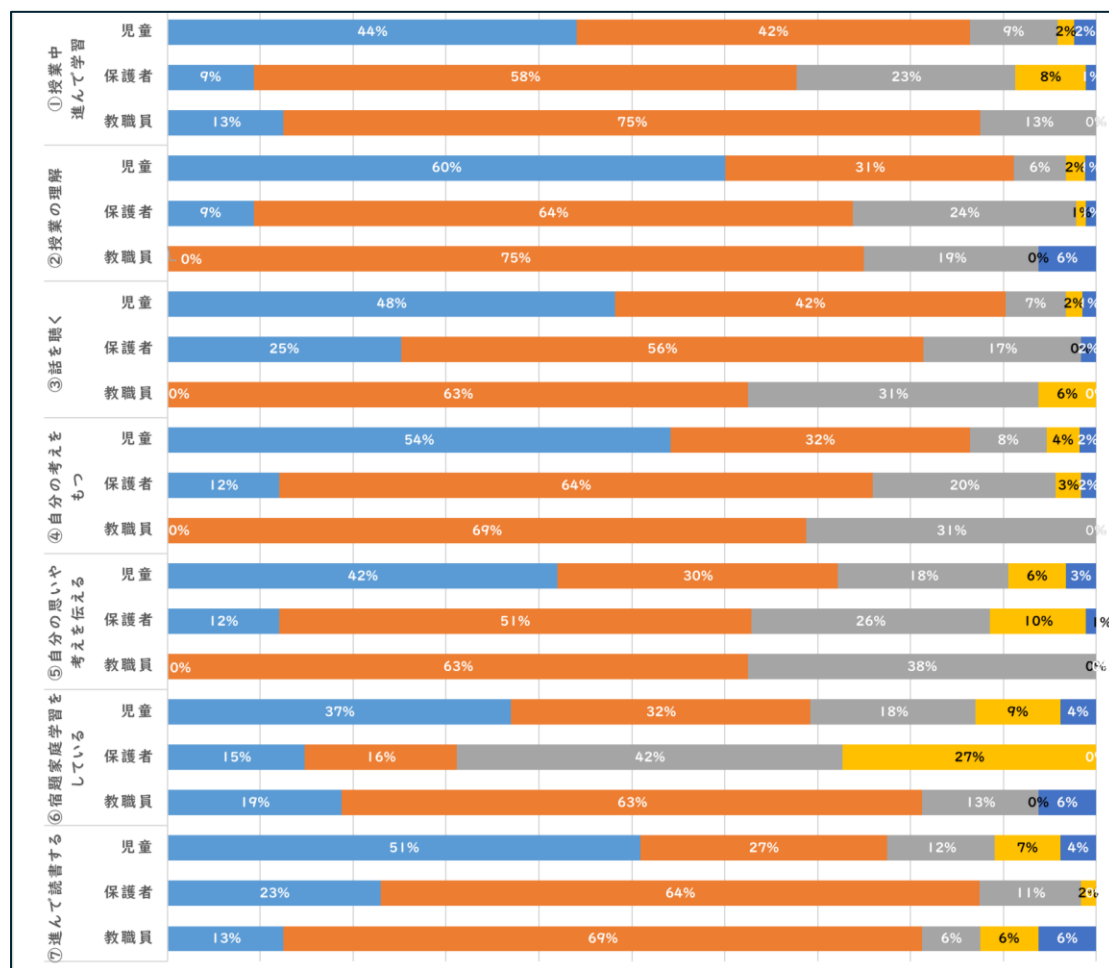
学校評価アンケート前期結果

保護者の皆様には、お忙しい中、1学期末に「令和7年度きらめきアンケート(学校評価アンケート)」にご協力いただき、ありがとうございました。集計の結果をお知らせします。今回のきらめきアンケートへの回答率は50%でした。よかった点も課題点も含め、保護者の方や地域の方と共有し、よりよい学校づくりにつなげていけたらと思います。

学校評価アンケートの内容を、『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』『学校独自の取組』『自由記述』の5つに分類し、順に分析した内容をお伝えします。

1. 確かな学力

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



『確かな学力』については全体として肯定的ではあります。ただ他の項目と比較して、児童と保護者・教職員の評価の差が大きく、児童は「できている」と肯定的な評価をしているのに対して、保護者・教職員は肯定的な割合が少し低い結果となりました。

普段の様子やアンケートからも、授業中、進んで学習する雰囲気はあることが見受けられます。ただ授業の理解度については、児童は理解していると答えている割合が多いですが、保護者・教職員との差異があります。着実に基礎的な学力

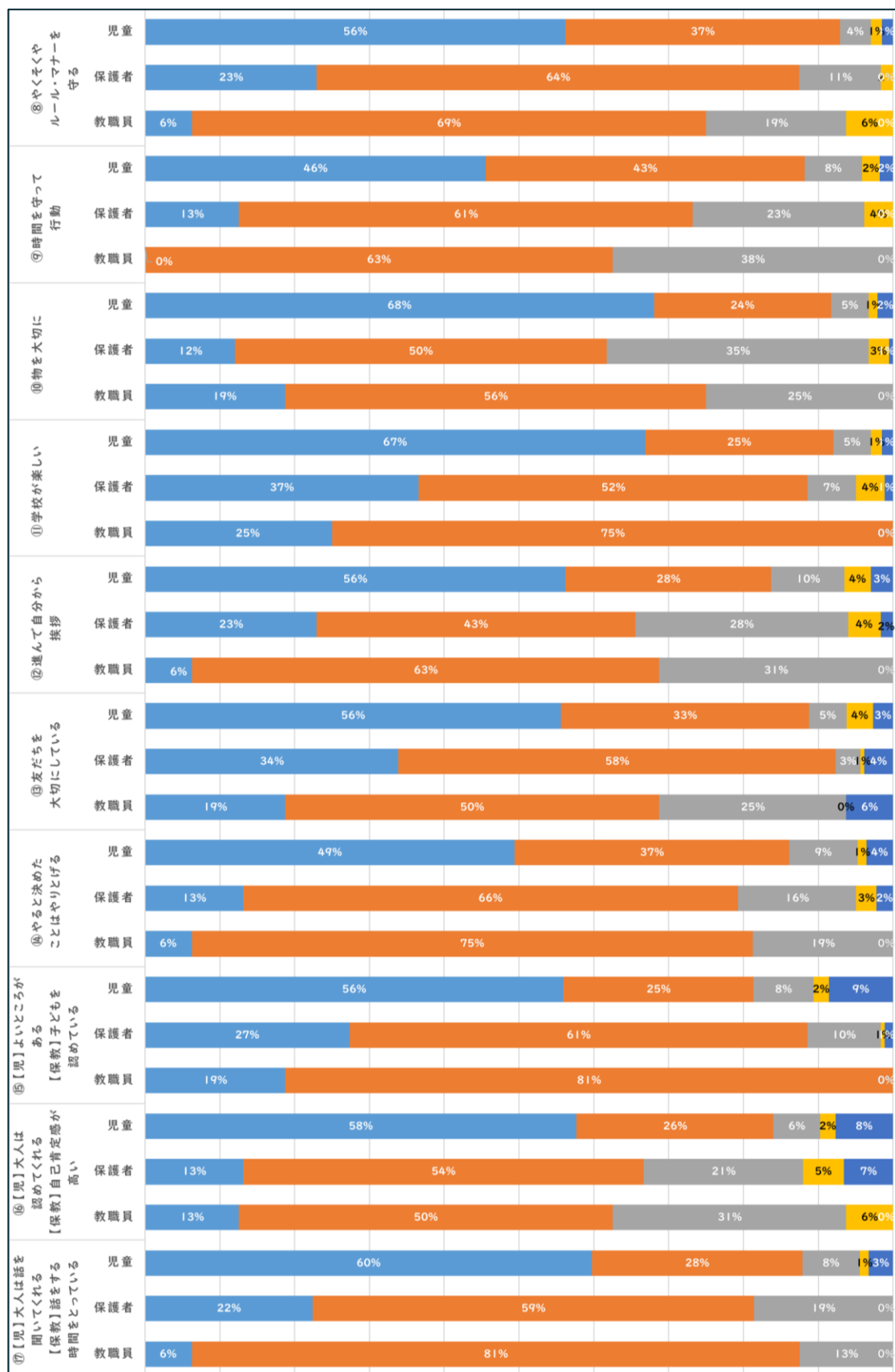
を身につけることが、学習の楽しさや意欲につながります。授業は基より、宿題・チャレンジタイムなどを活用し、しっかりとした学力を身につけていくことを児童も教職員もより意識していけるようにしたいと思います。

「話を聴く」「自分の考えをもつ」「自分の思いや考えを伝える」については、「仁和きらめきゆめプラン」のグランドデザインにも『育てたい資質能力』として挙げている内容です。大人が答えを示してしまうのではなく、子どもに「どうしたいか」「どうなりたいか」考えさせる時間をもつことが、自分と向き合いながら考える力を育てることになると考えています。年度当初から、子どもたちと教職員・子ども同士で対話することを大切に、教育活動を進めてきています。児童自身が考える経験をこれからも大切にしたいと考えています。

「宿題・家庭学習」や「読書」については、すぐに基本的な力が伸びるものではないですが、日々の積み重ねや続けることのよさを児童が感じられる場としていきたいと思っています。

2. 豊かな心

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



「学校が楽しいか」については、肯定的な割合が高く、学校は楽しい場となっている傾向にあります。しかしそう思うことができていない児童もいます。

「物を大切にしているか」について保護者の評価が低いことや、「友だちを大切にしているか」について、教職員の評価が低いことが気になります。

児童の様子を見ると、まだまだ相手の気持ちを想像できていない場面を見ることがあります。どの児童も安心して過ごせる環境になるよう指導を継続していきます。

「自分にはよいところがある」「大人は認めてくれる」について肯定的に捉えている児童は多いですが、否定的だったり分からないと答えたりする児童が気になります。

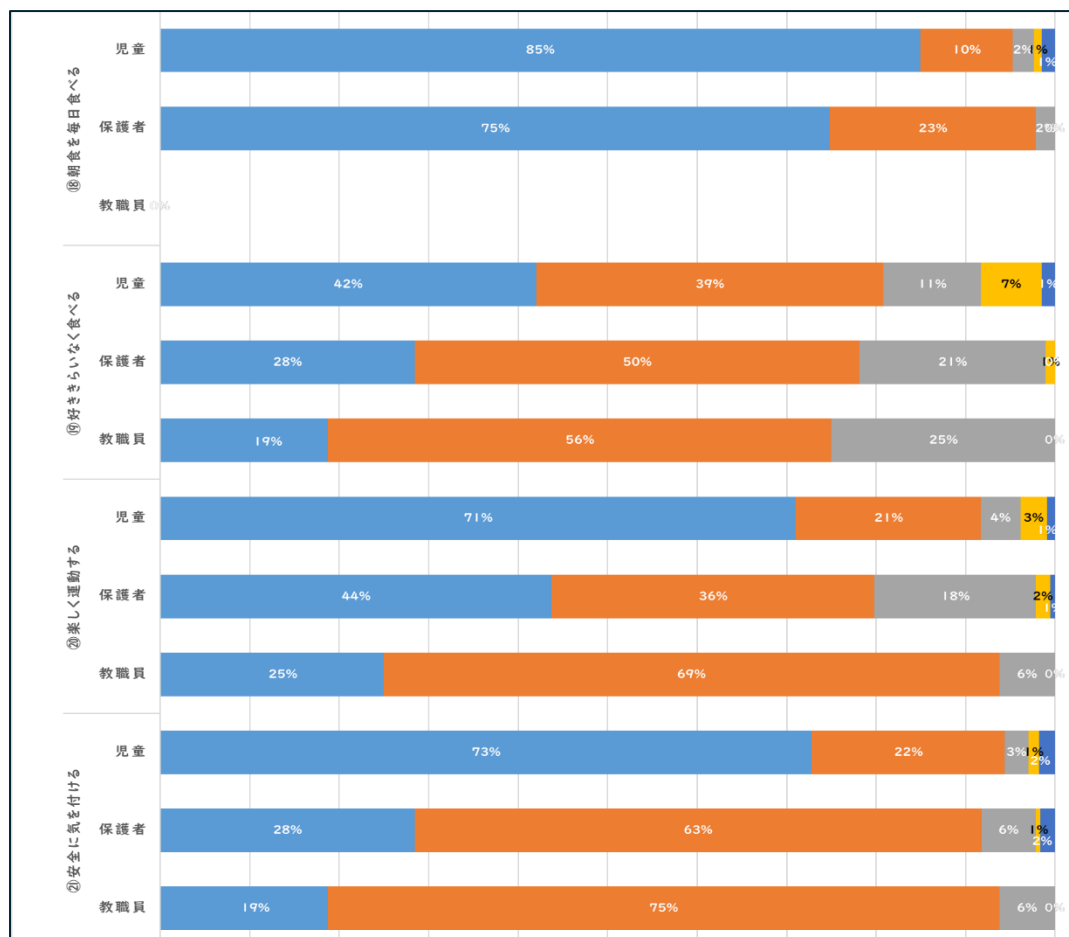
あらゆる場面で児童の行動を認め、それをしっかり声に出して伝える、日常の取組や行事で意図的に出来たことを振り返り、評価し、次につなげていきたいと考えています。褒めて自信をつけるだけでなく、様々な場面で役割をもたせて失敗しながらも、頑張れたことやできたことを達成感に

つなげ、自己肯定感の向上に努めていくために、たてわり活動や委員会活動、日々の学級での活動も大切にしていこうと取り組んでいます。

代表委員会では、児童が主体となり話し合いを進め、「相手のことを考える」というテーマに設定し、後期に取り組んでいきたいです。教職員側の共通の意識も大事になってくるため、取組内容や取組を通して変容した児童の姿の交流や問題意識の共有を何度も重ねていきます。

3. 健やかな体

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない ■ わからない



「健やかな体」の項目においては、全体的に肯定的な意見が多かったです。

「朝食を毎日食べる」「楽しく運動する」「安全に気を付ける」において、児童・保護者・教職員ともに肯定的な評価であります。

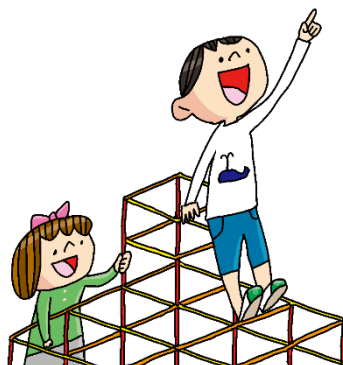
「楽しく運動する」については、休み時間は運動場やゆめの森、中庭で遊んでいる児童がとても多いです。ドッジボールやおにごっこ、一輪車やおやじの会で作っていただいた三角馬などを使って楽しんで遊んでいます。一方で、教室や図書館で過ごし、体を動かして遊ばない児童もいます。本年度より、ジャンプアップの取組とし

て、中間休みに体育館をクラスに開放しています。PTAより体を楽しく動かすグッズも購入していただきました。また、縦割りグループで過ごすロング昼休みを行い、しっかり遊ぶ時間の確保もしています。今後も、環境を整えた上で、みんなで楽しく運動する経験を積む中で、自ら進んで楽しく運動する児童を育成したいと考えています。

「安全に気を付ける」において、教職員の肯定的な評価が、昨年度は65%と低かったのに対して、本年度は94%と上昇しています。校舎の使い方・廊下の歩き方などについて教職員で話し合い、共通理解・児童への指導をしてきました。また、児童会の中で「廊下を走る人が多いので、みんなで気を付けたい」という意見が出たことで『ノーダッシュウィーク』を行い、クラスでめあてを決め、みんなで取り組むことができました。そのような取組を通して、廊下を走る児童は、少しずつ減少しているように感じますが、継続して児童・教職員みんなで取組を進めたいです。

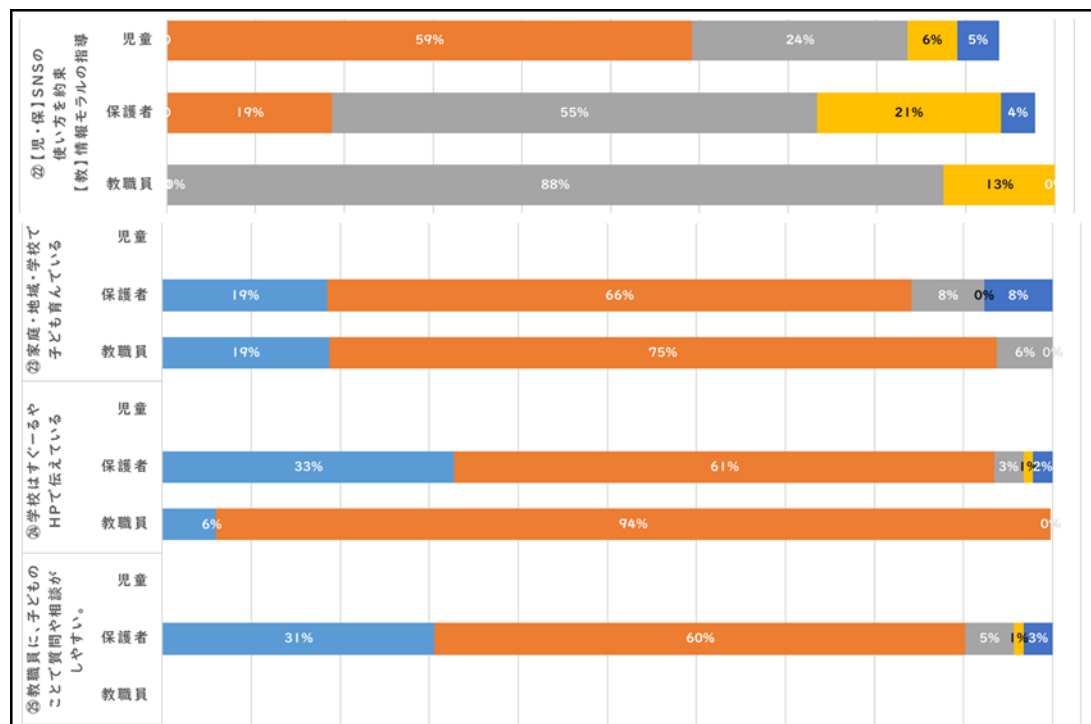
また、地域での過ごし方にも、ご意見をいただくことがあります。相手意識がなく、危険なことにつながるかもしれないと言う事前の察知力が低いために起こっている事象があり、解消していくことが課題であります。事前の察知力について考える機会として、保健室での保健指導や毎月の保健だよりでけがの予防やついで呼びかけています。キャラクターをつかって危ないと分かってはいるけれどとっさに危険な行動をしていたり、先のことを考えていなかったりする自分の行動を見直し、意識を高める指導をしています。

どの課題についても行動する前にしっかり考えられているか、自分のことだけでなく他人のことも想像できているかが大きく関わります。児童にそのような思考を促すよう働きかけていきたいと考えています。



4. その他

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない ■ わからない



SNSトラブルについて、年々増加しており、学校が保護者の方からの相談を受けることが増えてきました。

ご家庭で SNS 使用の約束をすることや学校での情報モラルの指導の必要性を強く感じます。

学校では年間の中で何度か発達段階に応じて情報モラル学習を続けていますが、利用実態が家庭により様々であります。

また、起こってしまった際に、状況が見えにくかったり、悪気がなくや

っていたりすることが気になります。例えば写真を撮る、友達のことを SNS で話す等、児童にとってはそれがトラブルにつながっている場合もあります。学校でも指導を続けますが、ご家庭でも SNS の使い方については、定期的に話題にいただけるとありがたいです。



5. 自由記述より

自由記述欄にも、たくさんの貴重なご意見をいただきました。ご意見と共に、教職員における温かいお言葉もたくさんちょうだいしました。ありがとうございます。ご意見をいただいた中で、記名していただいた方には、直接お返事をさせていただきました。匿名の方よりのご意見の中より以下にまとめさせていただきました。

Q 修学旅行の行き先について、移動に長時間かからないところに变えていただくことを希望します。

A 修学旅行は一生の思い出に残る大切な学校行事の一つです。

修学旅行の行き先は、「学習の目的と活動内容」「移動距離や方法・時間」「京都市で定められた修学旅行費を超えないこと」を考えて決定します。本校では少なくとも30年以上に渡り、平和学習の為に広島を行先にしており、非常に教育効果が高いと考えています。

令和4年度までは新幹線と広島電鉄、フェリー等を乗り継いで移動していましたが、歩く距離や乗り降りの回数等、児童や引率の負担を減らす為に観光バスを使用することになりました。ただし、乗車時間は長くなりました。令和8年度も広島へ行くことに変わりなく、現在業者に依頼し、定められた修学旅行費の上限を超えないように新幹線の利用も選択肢のひとつとして旅行計画を立ててもらっているところです。ここ数年、観光バスや宿泊施設の利用料金が高騰しており、今後さらに値上がりが見込まれます。修学旅行費の上限額が変わらない状況が続いたり児童数が減少したりすると、行先を変更することを余儀なくされます。修学旅行の行き先の変更については、すぐに出来るものではありませんので、代替案もいくつか検討し始めています。もし、令和9年度以降にそうなることが決定した場合は、なるべく早い時期に皆さんにお知らせいたします。

Q 残り遊びについて、体育館や図書館を開放することは可能でしょうか。

A 図書館につきましては、現在も図書ボランティアの皆さんのご尽力により、開放したりイベントをしたりと子どもたちの居場所や楽しみを作ってくださっています。体育館を開放することは、安全管理上難しいと考えています。今年度より、休み時間に体育館を開放し、学級・学年ごとに楽しんで体を動かす機会を設けています。

Q 先生に連絡を取りたいが、先生方の勤務時間と自分の仕事時間が合わないことがあり、いつ連絡したらいいのかわからないことがあります。

A お気遣い有難うございます。保護者の都合の良い時にお電話くださるか、「すぐーる」欠席・遅刻連絡の「遅刻」などよりその旨をお知らせくださると、学校から可能な時にご連絡いたします。決して遠慮なさらず、ご一報いただけると有難いです。よろしくお願いします。

Q 学校が集団登校を義務付けるのは理解できない。集団登校は任意にするべきだと思います。

A 貴重なご意見ありがとうございます。

ご指摘の通り、京都市内でも集団登校を行っていないところもあります。京都市も学区それぞれの地域性があり、集団登校が行われているところ、集団登校をしていたが児童数減少のためできなくなったところ様々です。ただ昨今ある行政区の学校では、児童の登下校の安全確保のために集団登校をしてほしいという要望が寄せられた学校もいくつかあります。

さて、集団登校は本校としては推奨しておりますが、義務という認識ではありません。集団登校の第一義の目的は、何より子どもたちの安全を守ることです。そして同じ地域で暮らす縦割りの仲間づくりという側面もあります。現状として、毎日規則正しくまとまって定時に登校することが出来ている班がほとんどです。ただ、家庭や子どもたちの状況は様々であり、全員が集団登校している訳ではありません。あわせて今後、集団登校という取組をやめて個別登校をすることになった場合、各家庭が個々に安全対策について考え取り組んでいく必要が出てきます。

安全対策で言いますと、今は仁和福祉団体連合会の皆さんが交差点等で見守ってくださっています。そして保護者の皆さんには校門でのあいさつ運動を行っていただいています。今後はその形を変え、任意で「登校班に付き添う安全見守り」という形が出来ないか、試行することをPTAの皆さんとも相談しています。地域・保護者の皆さんが協力し、仁和の子どもたちみんなの安全をみんなで守るという取組を今後も継続していただきたいと思います。

学校運営協議会理事の皆様より

○教育活動全般について

- ・概ね肯定的な回答となっております。教職員の皆様のご尽力のお陰と感謝しております。
- ・児童と教職員の認識の乖離については、「できている」姿がどんな姿かを児童に示して指導いただけたらと思います。
- ・子どもの家庭での様子と学校での様子に違いがあることが分かりました。
- ・家庭により取組の姿勢に違いがあるように感じています。
- ・授業だけでは学力の定着が難しい児童への対応が必要だと感じています。

○学校行事について

- ・限られた時間の中で、学校全体で楽しめるように工夫いただいていることを感じます。
- ・子どもは校外活動をとても楽しみにしています。終わった後、目を輝かせながら話してくれます。楽しみつつ学習できるように、思案いただいたと察します。ありがとうございます。
- ・作品展では多くの作品を工夫して展示されていました。
- ・修学旅行の移動時間の短縮、滞在時間の延長についてはぜひ検討いただきたいです。

○校内・校外の安全について

- ・良く対応されていると思います。・登下校の見守りが必要であると思います。
- ・大人が守るだけでなく、自分で自分を守るよう家庭でも学校でも指導していく必要があると思います。
- ・子どもの心の傷に気づき様子を見守っていきたいと思います。

○児童について

- ・楽しく学校に行っている児童が多いと思います。・子どもたちなりに日々頑張っていることを感じます。
- ・大人もしっかり話を聞く姿勢を見せることが大切。・SNS についてのトラブルが増えていることが気になります。
- ・長期的に言語化能力を高める取り組みが必要であると感じる。

○その他

- ・教職員にも児童にも無理のない学校運営を望みます。
- ・情報モラルの授業を参観日に見せていただき、とても大切なことなので継続していただきたいです。
- ・緊急の場合を除き、保護者からの連絡はメールなどを利用することが、教職員の負担を軽減につながらないか
- ・日々忙しいのは保護者も教職員も一緒に、子どもたちのために向き合うのではなく同じ方向を向いて協力していくことが大切だと思います。

すべての子どもたちにとって、「友だち大好き!仁和最高!」と言える学校になるよう、今後も保護者や地域の皆様と情報交流しながら、教職員みんなで取り組みを進めていきたいと思っています。貴重なご意見をありがとうございました。

